

理事長挨拶

医療法人社団 芙蓉会 理事長 四ヶ所 大

前回の誌面で、諸外国の感染状況に憂いていると表記したのも束の間、オミクロン株の猛威により、過去最高の新規感染者が発生しております。当法人のスタッフにおいても、濃厚接触者及びその疑い等で、自宅待機者も増えております。国の方は、感染者及び濃厚接触者の自宅待機基準を緩和しておりますが、クラスターの要因とならぬように願うばかりです。

2月1日に石原慎太郎元東京都知事が亡くなったとの訃報がありました。政界引退後もかつての政敵であった田中角栄氏を題材にした本の執筆等で活躍されており、89歳であったことも驚きでした。物事をハッキリと話す方という印象があり、数多くいる政治家の中でも存在感は際立っていたのではないのでしょうか。弟の石原裕次郎氏が健在だった頃、慎太郎氏の街宣演説の際、裕次郎氏が筆頭に、当時の石原軍団の面々が応援に駆けつける光景は、今なお鮮明に覚えています。人の評価は様々だと思いますが、間違いなく多くの方の記憶に残る方だったと思います。謹んでご冥福をお祈りいたします。

さて本年4月には、2年毎に実施される診療報酬改定が控えております。既に言われている今回の改定テーマは、コロナ対応、働き方改革等々。岸



田首相案件とされていた不妊治療の保険適用と看護職員の処遇改善も話題になっています。改定時にいつも思うのが、診療報酬改定と介護保険報酬改定とのアンバランスです。運営する医療法人の中には、医療保険事業と介護保険事業の両方を手掛ける法人が数多くあります。当然ながらスタッフの異動が発生するわけですが、ここ数年の悩みが、介護保険事業所にも適用される介護職員処遇改善加算の存在です。介護保健事業所から医療保険事業所への異動等を考えると、医療療養型病床で働いている多数の介護職員には、処遇改善と同等の金額を自腹で支払わざるを得ない法人が多いのが実情で、これが法人の大きな負担となっています。スタッフの待遇向上と同時に法人側の負担を減らす政策を実現していただきたいと切実に思います。

「老人は国の宝」

医療法人社団 芙蓉会 (事業所一覧)

- ・ふよう病院
- ・ふよう病院介護医療院
- ・芙蓉ミオ・ファミリア町田
- ・グループホームあおぞら
- ・デイサービスふれあいルーム
- ・千葉芙蓉病院
- ・きゃらの樹ケアセンター
- ・千葉芙蓉ハーモニー
- ・千葉芙蓉ステーション



2021 年 12 月院内研修 防火・防災について 「防火・防災クイズ」

発行者：防災委員会

内 容：

防災の研修については、以前から入職者に 2 時間、また既存の職員には 6 つのテーマに分けて 1 回 20 分の講習を一定期間に受講してもらうことで、緊急時に各職員が何を確認してどう行動すべきかを意識しながら働くことを目指す取り組みをしています。

今回の研修は、そうした日頃の研修の内容をクイズ形式にし、各自がきちんと把握できているかをセルフチェックしてもらう内容にしました。

受講者からは、「覚えていると思っていたが間違えてしまった部分があり、定期的にチェックする必要がある」という意見が多く寄せられました。

防火・防災クイズ



火災報知器



消火器



補助散水栓



スプリンクラー

A. 火災の発見・連絡

自動火災報知設備について、次の問いに○か、×かで答えてください

- (1) 火災による熱又は煙を感知した感知器は、感知器についているランプを点灯して合図を出す。 答え：
- (2) B棟、C棟の大部分の病室と、A棟（ミオファミリア）の居室には部屋のドアが閉まっても室内の感知器が作動したことが廊下からわかるよう、室外表示灯が付いている。 答え：

2022 年 1 月院内研修 認知症「アルツハイマー病について」

発行者：佐藤院長

内 容：

今回の研修は、アルツハイマー病に関する最新の見解と佐藤院長の実体験を職員に知っていただき、薬による治療がまだまだ困難でも、認知症に対する最新のアプローチ（会話と行動による対応法）を皆が心掛けることが、認知症の改善あるいは進行を止めることに繋がっていくことを周知したいという院長の強い思いを形に

しました。

受講後の感想に多かったのは、「死ぬことより認知症になる方が怖い。」「もしも自分や家族が認知症になったら…」という意見でした。また、身内に認知症の方がいて、様々な思いをされたことを書かれた方もいました。

認知症研修は、今後も最新の情報を中心に、継続的に実施したいと考えております。